

評価年度

令和 7 年度

1. 基本情報

公の施設名	利府町中央児童センター
指定管理者名	社会福祉法人 遊創の森
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
施設設置条例	利府町児童館条例（平成22年8月3日）
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにするため、児童福祉法第35条第3項の規定に基づき、児童福祉施設として利府町児童館を設置する。
施設概要	・場 所：利府町中央二丁目11番地2 ・敷地面積：3,0508.41㎡ ・建物概要：鉄筋コンクリート造2階 延床面積 1,743.23㎡ 駐車場 31台（ゆずりあい駐車場2台） 駐輪場① 29.60㎡ 駐輪場② 17.60㎡ ・主な施設：1階 遊戯室、子育て広場、学習室・図書室・集会室、多目的室、授乳室、相談室、事務室 2階 児童クラブ室、静養室 3階 多目的ホール（郷土資料館（仮設）） 屋外 軽運動場、児童広場、緑地等
施設所管課	利府町 保健福祉部 子ども支援課

2. 管理実績(年間)

項目(単位)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
来館者数合計(人)	63,886	34,299			
利用料金収入合計(円)	0	0			

3. 成果指標の達成度

指標 1

指標名(単位)	児童館事業の参加数(人)
指標式と指標の説明	児童館事業（「子育て広場」を除く）に関する利用来館者数を図るものとする

項目(単位)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値(人)	5,000	5,250	7000		
実績値(人)	14,350	8,453			
達成度(%)	287.0%	161.0%	0.0%	#DIV/0!	#DIV/0!

指標 2

指標名（単位）	子育て広場利用者数（人）
指標式と指標の説明	児童館事業「子育て広場」に関する利用来館者数を計るものとする

項目(単位)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値(人)	6,000	6,300	10000		
実績値(人)	49,536	20569			
達成度(%)	825.6%	326.5%	0.0%	#DIV/0!	#DIV/0!

評価（5段階）	評価理由
S	初年度の来館者数は予想を大きく超えるものであったため、2年目は落ち着くと予想し目標値を設定した。しかし、成果指標の達成度は大幅に超えており、潜在的な利用者ニーズの高さを再確認するとともに、令和7年度は多数の新規事業を行ったことも高水準をキープできた一因と推察する。次年度に向け、事業の量と質のバランスを再評価したい。

4. 事業の実施状況

(1) 指定事業

① 児童館 指定事業

主な事業名	実施時期	内容
児童館	4月～3月	「遊びによるこどもの育成」、「こどもの居場所の提供」、「こどもの意見を述べる場の提供」、「配慮を必要とするこどもへの対応」、「子育て支援の実施」、「地域の健全育成の環境づくり」、「ボランティア等の育成と活動支援」、「地区児童館との連携」ということを考え実践してきました。町内児童館の中心としての役割を念頭に、地域と連携しながら乳幼児期から高校生世代まで切れ目ない支援をしてきました。
児童クラブ	4月～3月	「こどもの健全な育成と遊び及び生活の支援（育成支援）」、「保護者との連携」、「こどもの発達理解」という児童クラブ運営指針にある柱を軸に、利府町児童クラブ条例に従い運営をおこないました。①遊びを通した集団生活の場の提供②安心安全に過ごせる場の提供③こどもたちの健全育成を提供できる場の提供ができるよう心がけてきました。
子育て広場	4月～3月	「親同士の交流推進」、「子育て等に関する相談・援助」、「地域の子育て関連情報の提供」、「子育て及び子育て支援に関する講習」ということを考え実践してきました。0歳から18歳までの児童福祉施設であることを意識し、切れ目ない子育て支援を実践できるよう、様々な機関と連携しながらおこなってきました。
体力増進事業	4月～3月	体力増進のための専門職員が、幅広い年齢層の子どもに遊びを通して運動指導を行い、体力増進、運動機能向上やスポーツ意欲を高めると共に、身体を動かすことが日常のルーティーンとなるよう啓発活動を行いました。

(2)提案事業

①児童館 提案事業

主な事業名	実施時期	内容
提案事業 わくわくたいむ	4月～3月	平日だけでなく土曜日、日曜日も利用し、町内のこどもたちと一緒にからだを動かしたり、工作をしたりして遊びました。
提案事業 子どもボランティア	5月～3月	『ぺあくるー』の名前で活動、児童館行事の手伝いや8/26、12/23には自主行事も企画・運営しました。また地域の清掃活動もおこないました。今年度登録数8名
提案事業 中高生タイム	4月～3月	集会室を中高生世代に開放し、居場所として提供しました。
提案事業 エンジョイ☆ウェンズデー	4月～3月	中高生世代を対象に、体育指導員が中心となり、スポーツを通して交流をはかりました。
提案事業 KATA☆RIBAラボ	4月～3月	中高生世代を対象に、ワークショップを実施しました。また、こどもたちの居場所づくりやプログラムなどの意見徴収の場としても企画しました。

②児童クラブ 提案事業

主な事業名	実施時期	内容
◆提案事業 チャレンジデー	4月～3月	児童クラブのこどもたちが、けん玉など様々なことに挑戦する機会を提供しました。
◆提案事業 つくってあそぼう	4月～3月	児童クラブのこどもたちが、身近にある物を利用して、制作し遊ぶ機会を提供しました。

③子育て広場 提案事業

主な事業名	実施時期	内容
ぺあくるタイム	5月～3月	制作行事の「つくる」、読み聞かせの「おはなし会」を統合し、ぺあくるタイムの中でより幅広く自由な時間として、様々な体験をする機会を提供しました。
◆提案事業 はかーる	4月～3月	身長・体重の計測をおこない、記録することで成長を実感する機会を提供しました。また、9月からは保健師が常駐し、毎回相談会も行いました。
◆定期事業 子育てサロン 「とこてく」	5月～2月	講師を招き、講座を開くとともに参加者同士の交流を行う場を提供しました。
◆定期事業 幼児クラブ (登録制)	5月～2月	未就学児親子を対象として、年間を通して開催、子ども同士・親同士のつながりができる場を提供しました。
◆定期事業 子育て講座	5月～2月	江崎グリコの協力で、子育て中の保護者に栄養士によるセミナーと相談の場として提供しました。

(3)自主事業

事業名	実施時期	内容・回数・参加者等
◆子育て広場事業 人形劇団「ごきげん座」	9月11日	41名 「ごきげん座」による人形劇をおこないました。聖農保育園の園児も招待し、交流事業としても企画しました。
◆子育て広場事業 公認サンタとクリスマス	12月10日	18名 公認サンタクロースをお招きして、クリスマス会をおこないました。
◆子育て広場事業 甘酒カフェ パパ・ママの息抜き	2月13日 2月20日 2月27日 3月15日	66名 手作りの甘酒で心も体もほかほかタイム。 初めての子育てに奮闘するパパ・ママが日頃の悩みや本音を語り合える場を提供しました。
◆子育て広場事業 ママのひとやすみ	2月19日 3月23日	16名 公益団体めぐりとの共催により、助産師を含むスタッフが携わり、産後・育児期の母親が安心して休息（お昼寝）できる時間を提供。 心身の回復を図るとともに、休息後には育児や体調に関する相談ができる場をつくりまし
◆児童館事業 ミズコンポストワークショップ	6月21日	8名 ぺあくろで実践しているミズコンポストについて学び、SDG sを身近に感じてもらいました
◆児童館事業 県民の森へいこう （親子行事）	7月26日	親子8組 親子行事として県民の森の森林インストラクターと一緒に草笛作りや水遊びをするなど自然について学びながら楽しく遊びました。
◆児童館事業 ぺあくろに泊まろう	8月9日～ 10日	11名 「もしもに備える防災ナイト」として、菅谷台防災士の会の協力のもと、防災の知識や行動を学びました。また、「泊まる」という非日常体験の中で、協力することの大切さや自立心を育みました。
◆児童館事業 みんなでバスケット	10月19日	9名 ぺあくろのバスケットコートを使い、小学生の部は3×3講座とフリースロー大会、中高生の部では来館者の方にも参加し、中高生対職員との試合を行いました。
◆児童館事業 ストリートけん玉に挑戦	2月7日	34名 けん玉を通して膝の屈伸や、手先の微細な操作による全身運動を行い、脳の活性化、集中力向上、体感強化につなげました。
◆児童館事業 JUMP-JAMで じゃんじゃんあそぼう！	2月9日	23名 じゃんけんを用いたゲームを通して、運動が得意な子も苦手な子も、みんなで一緒に運動遊びを楽しみました。
◆児童館事業 出張！ぺあくろ おかもち隊	8月2日	派遣職員5名 町加瀬地区の夏祭りに職員を派遣、お手伝いをするとともに町内会の皆さんと交流を図りました
◆児童館事業 夏休みイベント	8月15日	42名 「ぺあくろスタッフと仲良くなろう！」という企画で、職員からミッションを受け取りクリアしたらかき氷をプレゼントし、職員との交流を図りました
◆児童館事業 移動児童館がやってくる!!	9月6日 10月4日	39名 児童館が近くにない地域に、遊びや交流の機会を提供し、成長をサポートしました。 今年度は、乳幼児対象としてしらかし台地区へ、小学生対象として第三小学校学区で行いました
◆児童館事業 ハロウィンイベント	10月30日	52名 今年度は、ゲームやクイズなどのミッションをクリアし、合言葉をゲットしたらお菓子がもらえる企画を行いました。
◆児童館事業 おもちゃ病院「くまさん」	9月19日 1月16日	29名 おもちゃを治してくれるボランティア団体『おもちゃ病院くまさん』に来ていただき、来館者が持ってきたおもちゃの修理をしてもらいました。

◆児童館事業 クリスマスイベント	12月24日	98名 今年度は、子どもボランティアも参加し、松ぼっくりツリーの工作と鈴カステラを食べるイベントを行いました。
◆児童館事業 児童福祉施設交流	4回 20名	・7/23つなぐ利府放課後デイサービス（小中学生） ・9/12利府支援学校（4年生） ・10/17青葉台保育園（年長児） ・3/17アスク保育園（年長児）
◆児童館事業 夏休みは楽しいことをやってみよう	34回 313名	・7/22、/24「ミニおはなし会」 ・7/24「七夕飾りを作ろう」 ・7/24、/25「サンキャッチャーを作ろう」 ・7/25、「毛糸で巻き巻き飾りを作ろう」 ・7/28～/31「オリジナル貝殻アート」 ・8/1～/3「輪ゴムプレスレットをつくろう」 ・8/4～/6「クイズ！スタッフを当てろ」 ・8/4～/6「ギャラクシーボトルをつくろう」 ・8/7「サンキャッチャーをつくろう」 ・8/7～/9「切り絵とメッセージカード」 ・8/14～/16「色えんぴつでプラバンを作ろう」 ・8/20「楽器を楽しもう」 ・8/18～/22「ステンドグラス風からふるしおり作り」 ・8/25「アイ7の棒を使って合わササをつくろう」
◆児童館事業 オマチマンコンサート	10月18日	32名 保育園や幼稚園の子どもたちを中心に、日本全国で公演をしている『愛と元気のオマチマン』のコンサートを行いました。
◆児童館事業 児童センターまつり「できるかな？ SDG s チャレンジ」	12月13日	111名 昨年に引き続きSDG s をテーマに、一般企業や業界団体、更生保護女性会や社会福祉協議会、敬老会や生涯学習課など多くの外部団体にご協力いただきおこないました。
◆児童館事業 しあわせのおすそわけ	1月14日	171名 更生保護女性会、生涯学習課の方々にご協力いただき、由来などを説明しながら鏡餅と島田飴の鏡開きをおこない、おしるこをふるまいました。
◆児童館事業 コンサート チリンとドラム	2月3日	99名 『乳幼児親で楽しむはじめてコンサート』と題し、やさしくて楽しいひと時を提供しました。
◆児童館事業 桃の節句の集い	3月3日	34名 町加瀬町内会長寿会の皆さまもお招きし、お琴の演奏会を行うなど交流を持ちながらひな祭りを楽しみました。
◆児童館事業 人形劇「ひばりあむ」	3月17日	88名 全国で活躍する人形劇団体をお招きし、本物に触れる機会を提供しました。また、聖農保育園にも声をかけ、交流の場としました。
◆児童館事業 利府町内福祉施設ネットワーク研修	10月22日 10月29日 12月8日	63名 利府町内の児童館、児童クラブ職員を対象に、救急救命と不審者対応講習をおこないました。
◆職員研修	50回程度	のべ151名 児童館・児童クラブに必要な資格の取得や子育て、子ども達の気持ちに寄り添える研修に参加しました。
◆児童館事業 人形劇『とんがらし』	4月24日	85名 人形劇「とんがらし」を観劇。 子どもたちが本物の人形劇を体験する良い機会となりました。
◆児童クラブ事業 野菜と花を植えよう	5月26日	30名 児童クラブだけでなく、べあくる全体の園芸を行い、ラディッシュ、きゅうり、トマト、じゃがいもを植えました。

◆児童クラブ事業 七夕飾り制作	6月24日27日	45名 七夕に向けて、笹の葉に飾る短冊や折り紙の七夕飾り、くす玉などを制作し、季節の行事に親しみました。
◆児童クラブ事業 映画鑑賞会	7月23日 7月24日 8月18日	155名 映画館で観る気分が味わえるように、ポップコーンを食べながら映画鑑賞会を行いました。
◆児童クラブ事業 水遊び・ウォーターバトル	7月23日 7月31日	100名 ペットボトル水鉄砲を自分たちで制作し、空気圧を調整するなど工夫をしながら水遊びを行いました。水風船や水鉄砲を使い水遊びを楽しみました。
◆児童クラブ事業 ミサンガ作り	7月28日 31 日	40名 段ボールの型と刺繍糸を使用し、ミサンガを作成しました。家族の分を作ったり、上級生が下級生に優しく教える姿がみられました。
◆児童クラブ事業 お化け屋敷	7月31日	84名 2年生が主催し、演者や裏方として参加しました。こどもたちはお化け屋敷に入ったりして夏の風物詩を楽しみました。
◆児童クラブ事業 缶バッジ作り	8月4日 8月6日 8月7日	72名 紙にそれぞれ好きな絵を描き、缶バッジメーカーで、オリジナルの缶バッジを制作しました。
◆児童クラブ事業 プラバン作り	8月6日	50名 キャラクターの写し絵やオリジナルのイラストをプラバンに描き、焼いた後キーホルダーにしました。
◆児童クラブ事業 かき氷を食べよう	8月8日	63名 猛暑を乗り切れるようみんなでかき氷を食べました。
◆児童クラブ事業 しゃぼん玉作り	8月8日	10名 モールで吹き具を作り、手作りのシャボン液をつけて色々な形のシャボン玉を楽しみました。
◆児童クラブ事業 出張こども万博	8月18日	68名 こどもたちが自館でおこなったこども万博をべあくでも展示しました。実行委員6名が展示から進行まで行い、ジオラマやUFOキャッチャーなどを展示しました。
◆児童クラブ事業 郷土資料館見学	8月18日 8月19日	42名 利府町生涯学習課の方に案内してもらい、郷土資料館の見学を行いました。
◆児童クラブ事業 チャレンジランキング	8月20日 8月22日	30名 水中コイン落とし、キャップつみ、宝石探しなども種目を行い、ランキングを提示しました。
◆児童クラブ事業 夏祭り	8月22日	46名 こどもたちが主体となって、千本引きなどのコーナーの準備や運営を行い、夏祭りを楽しみました。
◆児童クラブ事業 カレーを食べよう	8月26日	151名 更生保護女性会の方に来ていただき、職員と一緒にカレー作りを手伝っていただきました。できたカレーは、こどもたちとみんなで食べました。
◆児童クラブ事業 世代間交流会	9月18日	82名 敬老の日になみ近隣町内会の方をお招きし、こどもたちと一緒に茶話会やゲームを行い、交流をはかりました。

◆児童クラブ事業 手作り楽器	9月25日	35名 ペットボトルキャップなどの廃材を使って笛やマラカス作りを行いました。
◆児童クラブ事業 お楽しみレース	9月26日	37名 様々な運動要素を取り入れ、段ボールキャタピラーなどを使った障害物レースを行いました。パン食いレースは子どもたちも楽しみながら運動することができました。
◆児童クラブ事業 人権擁護委員 花植え&紙芝居	10月21日	65名 人権擁護委員の方が来館し、花を植えることで「命の大切」や、「協力すること」、「思いやり心」の大切さを学びました。
◆児童クラブ事業 英語で楽しむハロウィン	10月31日	11名 ゲームを通じて英語の単語を覚えながら、ハロウィンの世界観を楽しみました。
◆児童クラブ事業 海を感じるふれあい体験	11月4日	45名 地域おこし協力隊の皆さんに、海の生き物のタッチプールや貝殻アートといった楽しめる体験プログラムをおこなってもらいました。
◆児童クラブ事業 豚汁を食べよう	11月4日	34名 職員が作った豚汁をみんなで食べました。何杯もお代わりする子がいるなど、大好評でした。
◆児童クラブ事業 防災教室	11月12日	116名 利府消防署の方が来館し、防災カルタを行いながら防災について学びました。
◆児童クラブ事業 クリスマス会お楽しみ会	12月24日	108名 児童クラブごとにゲーム大会やクカードづくりなどおこないました。
◆児童クラブ事業 大掃除	12月26日	96名 年最後の児童クラブ利用日に合わせ、いつも使っている児童クラブ室をみんなできれいにしました。
◆児童クラブ事業 もうすこしでお正月	12月26日	65名 更生保護女性会、生涯学習課、子ども支援課の方々にご協力いただき、お餅の歴史を学び、臼と杵をつかって餅つきを行いました。
◆児童クラブ事業 初詣	1月5日	29名 新年最初の児童クラブ当初日に合わせ、近くの八幡神社までお参りに行きました
◆児童クラブ事業 節分をたのしもう	2月3日	36名 節分をおこなう理由を学び、年代に合わせて、豆に見立てた新聞ボールを投げる豆まきなどをおこなった。
◆児童クラブ事業 まち探検 こども110番	3月25日	18名 利府町内の施設を練り歩き、その道中で「こども 1 1 0 番の家」を探し、利府消防署・利府町役場の見学・体験をした。

評価（５段階）	評価理由
S	○児童健全育成事業/地域交流推進事業 町の中心となる児童福祉施設として、「こどもをまんなか」において取り組んできた一年でした。家庭や学校に居場所を感じられない子どももいます。そのような子どもたちが身近にいる大人と遊ぶとなんだかあたたかい気持ちになる。そんな人物像を目指し、チームで日々精進してきました。何よりも同じ仲間と語り合うことが重要なキーポイントにこどもたちの居場所づくりのためにどうしていけばよいのか、特に中高生世代の取り込みには、こどもたちとコミュニケーションをとり寄り添いながらとりくんでまいります。また、地域との連携や協力体制の構築を心がけ、「おかもち隊」として町内会のイベントへのお手伝い。地域に根差した児童福祉施設を心がけてきました。 ○子育て支援事業 通常時の広場では、町外6割町内4割となり、昨年度よりは、町内の利用者が増えました。提案行事においてもリピーターが定着し、安定した行事展開となった。利用者の中には職員が広場で一緒に遊ぶことにより、子育てで悩んでいる相談件数も昨年度より増えてきている。うちの人の悩みをなかなか話せないこと声もあり、「ママカフェ」を開催した。児童文化財にも力を入れ人形劇など「本物」にふれる機会を作ることができ、とても喜んでもらえました。さらに利用者や地域の方々とのコミュニケーションを行い「地域の架け橋」になるよう取り組んでいきたいと考えております。 ○放課後児童クラブ事業 法人で大切にしている「子どもの参画」をベースに事業を継続しておこないました。1～2年生は、「体験」が中心となる行事展開を多く実施。3～6年生は、自分たちの「やりたい！」を形にする行事の展開、夏休みや冬休みといった長期休業を中心に大人との交渉から実現までを増やし、保護者からのありがたいお声もいただきました。こどもたちの意見を取り入れ、自主性を重んじたものができた手ごたえがあり、このような評価としました。今後も、職員研修などを通してスキルアップに努めていきます。児童クラブでは、夏休みなど長期休業期間を利用し、季節の行事等様々な事業をおこなってきました。しかしながら、児童館並びに子育て広場の事業では、想定を上回る来館者がきたこともあり、4月から思うようにできず、回数をおこなうことができませんでした。 ○体力増進事業 体力増進のための専門職員が、幅広い年齢層の子どもに遊びを通して運動指導を行い、体力増進、運動機能向上やスポーツ意欲を高めると共に、身体を動かすことが日常のルーティーンとなるよう啓発活動を行いました。また、中学生高校生世代を対象に活動を展開し、体力増進を入口に中高生世代の居場所づくり事業へも発展させながら実施しました。

5. 利用者の満足度

(1)利用者満足度調査

調査手法/回答数	児童センターおよび児童クラブ利用者アンケート（対象者：自由来館者、児童クラブ利用者）
目標値の基準	グーグルフォームをつかった施設利用者アンケートを実施。 （接遇、遊具充実、館内環境、雰囲気、行事、広報などを4段階評価で実施） 期間内（第4四半期1か月程度）の利用者にアンケートを実施し、様々な項目について利用者満足度を図った。回答中央値より大きい評価を基準に、目標値を70%にした。

項目(単位)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値(%)	60.0%	70.0%			
実績値(%)	76.9%	81.0%			
達成度(%)	128.2%	115.7%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

(2)その他の取り組み

取組事項	時期	内容
企画行事後アンケート	4月～3月	新規企画等、一部の企画行事において行事参加アンケートを実施。（紙媒体やGoogleフォームにて）※年間通した施設利用者アンケートとは別途。

評価（５段階）	評価理由
S	昨年度は多くの回答を得られなかったため、職員により丁寧な声掛け、児童クラブ保護者へは数度に渡る案内通知を行うなど努め、令和６年度５２件に対し、令和７年度４５６件の回答を得ることができた。アンケート結果として、７つの質問項目の内、ほとんどが９０％以上「良い」、「まあまあ良い」との評価を得ることができ、職員対応、環境構成、企画充実度に対する満足度を確認することができた。自由記載項目においても様々なご意見を頂き、地域拠点施設としての期待の高さや要望を言いやすい関係性が構築できたと感じる。ご意見に対しては、諸々精査し今後の運営に生かしていきたい。

６．経営状況

(1)施設の収支概要

項目	令和７年度予算	令和７年度決算	予算決算比
収入（a）	78,399,000	78,399,000	0
指定管理料	78,399,000	78,399,000	0
利用料金収入			0
（うち、減免補填額）			0
事業収入			0
その他の収入			0
支出（b）	78,399,000	78,399,000	0
人件費	58,500,000	62,675,439	-4,175,439
事務事業費	14,521,000	10,111,523	4,409,477
維持管理費	3,670,000	4,524,010	-854,010
その他の支出	1,708,000	1,088,028	619,972
収支（a）-(b)	0	0	0
備考			

(2)指定管理団体(各社)の財務状況

財務状況	健全な財務状況である。
------	-------------

評価（５段階）	評価理由
A	人件費および委託料等の維持管理費において予算よりも多い支出となりましたが、消耗品・備品の購入を抑えたことにより良好な財務状況となった。

7. 管理業務の履行状況

検査方法	利府町保健福祉部子ども支援課職員が、現地調査によるヒアリング及び資料や施設を確認・実施。
実施時期	令和8年7月9日実施

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適 正	
危機管理	適 正	
人員配置・地元活用	適 正	
現金管理	適 正	
会計・経理	不適正	指定管理料の範囲内ではあるが、人件費にかかる支出が予算よりも多くなっていたので適正な財務管理を求める。
情報セキュリティ	適 正	
情報公開・個人情報保護	適 正	
町への報告事項・事前承認等	適 正	

加点事由	具体的内容
有	マニュアル作成や独自の研修等開催など、安定した運営に繋がっていた。

評価（5段階）	評価理由
C	管理・経理の項目について適正ではなかったため改善を求める。

8. 指定管理者の自己評価（自己アピール）

自己評価点数	利府町の中心となる児童福祉施設として、児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、または情緒を豊かにするため、改正児童館ガイドライン及び利府町児童館条例をに沿った運営を念頭に事業をおこなってまいりました。
91	今年度は、町内利用者も定着してきたこともあり、地域ニーズを意識した事業展開が行えました。特に子育て支援、中高生の居場所づくりにおいて様々な視点で事業を展開し、裾野を広く地域における認知を広めることができました。また、移動児童館など他児童館・児童クラブや関連施設、地域の皆様にご支援頂き開催した事業も多く、町の拠点施設として機能し始めたことも評価できます。今後は、福祉施設としてリソースを割く必要性、利用者満足度、波及効果と発展性などを評価した上で、事業の見直し、量から質への転換を図りたいと思います。
自己総合評価	
S	

9. 所管課意見

指定管理者2年目となり、来館者も開館当初時より落ち着き、安定した児童センターの運営に繋がったと思う。町内利用者の割合が増えるための取り組みは、日々、模索しながらも人数へ反映できたのではないかと感じている。

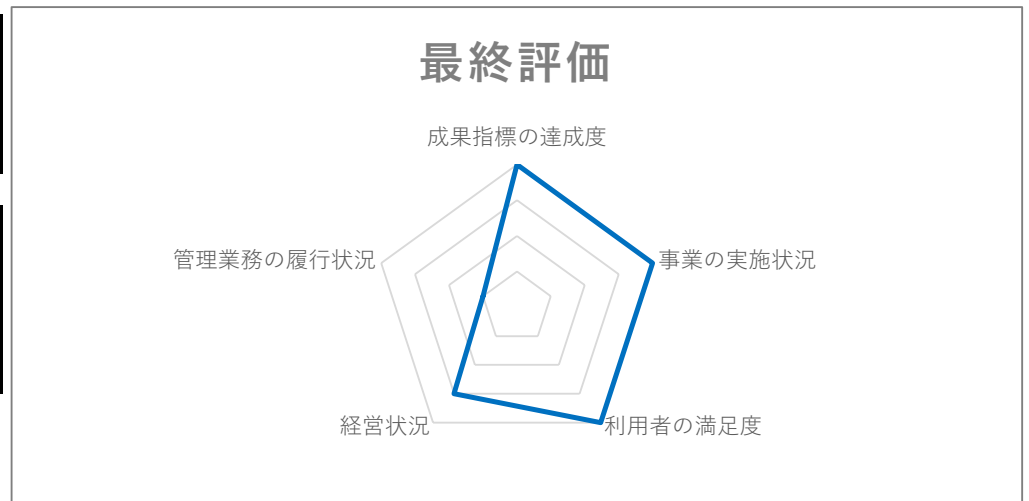
児童クラブ運営については、入所する児童数が多く1～3年生の預かりではあったが、その中でも配慮が必要な児童も多く運営に苦慮していたと感じていたが、スタッフを中心に安全・安心な運営に努められていた。昨年のモニタリングで「地域と積極的に交流を図ってほしい」と指摘したが、町内会や老人クラブ、消防署や交番等、様々な団体等と積極的に交流が図られたことは良かった。

子育て広場は、安定した事業展開や相談体制の充実もあり、乳幼児親子がより利用しやすい広場となり、利用者増やリピーターに繋がったと思う。また、新しい事業へもチャレンジしたことにより、今まで子育て広場へ来ることがなかった乳幼児親子が利用するきっかけとなった。引き続き、利用しやすい・相談しやすい子育て広場の運営をしてほしい。

体力増進事業では、軽運動場や多目的室を利用しながら、特に中高生の居場所になるよう工夫をしながら事業展開が図られていた。少しづつ、「中高生の居場所」として定着してきていることが、利用者増へ繋がったと思う1年だった。今後も、学校と密に連携しながら、中高生の声を大事にし「第3の居場所」として提供してほしい。

最終評価

総合点数
80
最終評価
A



利府町中央児童センター モニタリング評価【事業評価シート】

利府町

評価年度

令和 7 年度

1. 事業実施状況

(1) 指定事業

※各事業の詳細は別添事業報告シートを参照のこと

評価（◎：良い ○：普通 △：不十分）

事業名	計画回数	実施回数等（詳細は別添の事業報告シート）	自己評価	町評価
児童館事業				
児童館 （児童健全育成事業） （地域交流推進事業）	319回	実施回数319回 令和7年は、「地域の中に根差す児童センター」を職員間で心がけ事業の展開をしてきました。町内会や地域との絆づくり。他団体とのこどもを真ん中に置いた体験活動。西部児童館、東部児童館、利府町児童クラブとの協力体制の構築。中学生高校生の居場所として試行錯誤した結果、利府町内の中学生高校生が多く立ち寄るようになった。楽しいことだけではなく、その反対にはリスクとハザードが存在することを意識し、今後も行事を展開していきたい。	◎	◎
児童クラブ （放課後児童健全育成事業）	291回	実施回数291回 法人で大切にしている「子どもの参画」をベースに事業を継続しておこないました。1～2年生は、「体験」が中心となる行事展開を多く実施。3～6年生は、自分たちの「やりたい！」を形にする行事の展開、夏休みや冬休みといった長期休業を中心に大人との交渉から実現までを増やし、保護者からのありがたいお声もいただきました。こどもたちの意見を取り入れ、自主性を重んじたものができた手ごたえがあり、このような評価としました。	○	◎
子育て広場 （子育て支援事業）	291回	実施回数291回 通常時の広場では、町外6割町内4割となり、昨年度よりは、町内の利用者が増えました。提案行事においてもピーターが定着し、安定した行事展開となった。利用者の中には職員が広場で一緒に遊ぶことにより、子育てで悩んでいる相談件数も昨年度より増えてきている。おうちの人の悩みをなかなか話せないこと声もあり、「ママカフェ」を開催した。児童文化財にも力を入れ人形劇など「本物」にふれる機会を作ることができ、とても喜んでもらえました。	○	◎
体力増進	4月～3月	実施回数51回 児童館の機能に加えて、体力増進のための専門職員が幅広い年齢層に子どもに遊びだけでなく運動指導を行い体力向上やスポーツ松堂も重視しています。また、中学生や高校生向けの活動や居場所づくりも実施しました。	○	◎
評価点			9	12

(2) 提案事業

事業名	計画回数	実施回数等（詳細は別添の事業報告シート）	自己評価	町評価
児童館事業				
提案事業 わくわくたいむ	14回	203名参加 平日だけでなく土曜日、日曜日でも利用し、町内のこどもたちと一緒にからだを動かしたり、工作をしたりして遊びました。	◎	◎
提案事業 子どもボランティア	11回	22名参加 『べあくー』の名前で活動、児童館行事の手伝いや8/26、12/23には自主行事も企画・運営しました。また地域の清掃活動もおこないました。今年度登録数8名	○	○
提案事業 中高生タイム	319回	毎日17:30～20:00の間 3,249名 集会室を中高生世代に開放し、居場所として提供しました。	◎	◎
提案事業 エンジョイ☆ウェンズデー	48回	65名参加 中高生世代を対象に、体育指導員が中心となり、スポーツを通して交流をはかりました。	△	○
提案事業 KATA☆RIBAラボ	6回	56名 中高生世代を対象に、ワークショップを実施しました。また、こどもたちの居場所づくりやプログラムなど企画しました。	◎	○
児童クラブ事業				
◆提案事業 チャレンジデー	24回	児童クラブのこどもたちが、けん玉など様々なことに挑戦する機会を提供しました。	○	○
◆提案事業 つくってあそぼう	24回	児童クラブのこどもたちが、身近にある物を利用して、制作し遊ぶ機会を提供しました。	○	○
子育て広場事業				
べあくータイム	12回	259名 制作行事の「つくる」、読み聞かせの「おはなし会」を統合し、べあくータイムの中でより幅広く自由な時間として、様々な体験をする機会を提供しました。	○	○
◆提案事業 はかーる	11回	314名 身長・体重の計測をおこない、記録することで成長を実感する機会を提供しました。 また、9月からは保健師が常駐し、毎回相談会も行いました。	◎	◎
◆定期事業 子育てサロン 「とこてく」	4回	30名 講師を招き、講座を開くとともに参加者同士の交流を行う場を提供しました。	○	○
◆定期事業 幼児クラブ (登録制)	10回	124名 未就学児親子を対象として、年間を通して開催、子ども同士・親同士のつながりができる場を提供しました。	△	◎
◆定期事業 子育て講座	6回	78名 江崎グリコの協力で、子育て中の保護者に栄養士によるセミナーと相談の場として提供しました。	○	○
評価点			26	28

(3)自主事業

事業名	実施時期	内容・回数・参加者等
◆子育て広場事業 人形劇団「ごきげん座」	9月11日	41名 「ごきげん座」による人形劇をおこないました。聖農保育園の園児も招待し、交流事業としても企画しました。
◆子育て広場事業 公認サンタとクリスマス	12月10日	18名 公認サンタクロースをお招きして、クリスマス会をおこないました。
◆子育て広場事業 甘酒カフェ パパ・ママの息抜き	2月13日 2月20日 2月27日 3月15日	66名 手作りの甘酒で心も体もほかほかタイム。 初めての子育てに奮闘するパパ・ママが日頃の悩みや本音を語り合える場を提供しました。
◆子育て広場事業 ママのひとやすみ	2月19日 3月23日	16名 公益団体めぐりと共催により、助産師を含むスタッフが携わり、産後・育児期の母親が安心して休息（お昼寝）できる時間を提供。 心身の回復を図るとともに、休息後には育児や体調に関する相談ができる場をつくりました。
◆児童館事業 ミズコンポストワークショップ	6月21日	8名 べあくるで実践しているミズコンポストについて学び、SDGsを身近に感じてもらいました
◆児童館事業 県民の森へいこう （親子行事）	7月26日	親子8組 16名 親子行事として県民の森の森林インストラクターと一緒に草笛作りや水遊びをするなど自然について学びながら楽しく遊びました。
◆児童館事業 べあくるに泊まろう	8月9日～ 10日	11名 「もしもに備える防災ナイト」として、菅谷台防災士の会の協力のもと、防災の知識や行動を学びました。また、「泊まる」という非日常体験の中で、協力することの大切さや自立心を育みました。
◆児童館事業 みんなでバスケット	10月19日	9名 べあくるのバスケットコートを使い、小学生の部は3×3講座とフリースロー大会、中高生の部では来館者の方にも参加し、中高生対職員との試合を行いました。
◆児童館事業 ストリートけん玉に挑戦	2月7日	34名 けん玉を通して膝の屈伸や、手先の微細な操作による全身運動を行い、脳の活性化、集中力向上、体感強化につなげました。
◆児童館事業 JUMP-JAMで じゃんじゃんあそぼう！	2月9日	23名 じゃんけんを用いたゲームを通して、運動が得意な子も苦手な子も、みんなで一緒に運動遊びを楽しみました。
◆児童館事業 出張！べあくる おかもち隊	8月2日	派遣職員5名 町加瀬地区の夏祭りに職員を派遣、お手伝いをするともに町内会の皆さんと交流を図りました
◆児童館事業 夏休みイベント	8月15日	42名 「べあくるスタッフと仲良くなろう！」という企画で、職員からミッションを受け取りクリアしたらかき氷をプレゼントし、職員との交流を図りました
◆児童館事業 移動児童館がやってくる!!	9月6日 10月4日	39名 児童館が近くにない地域に、遊びや交流の機会を提供し、成長をサポートしました。 今年度は、乳幼児対象としてしらかし台地区へ、小学生対象として第三小学校学区で行いました
◆児童館事業 ハロウィンイベント	10月30日	52名 今年度は、ゲームやクイズなどのミッションをクリアし、合言葉をゲットしたらお菓子がもらえる企画を行いました。
◆児童館事業 おもちゃ病院「くまさん」	9月19日 1月16日	29名 おもちゃを治してくれるボランティア団体『おもちゃ病院くまさん』に来ていただき、来館者が持ってきたおもちゃの修理をしてもらいました。
◆児童館事業 クリスマスイベント	12月24日	98名 今年度は、子どもボランティアも参加し、松ぼっくりツリーの工作と鈴カステラを食べるイベントを行いました。

◆児童館事業 児童福祉施設交流	4回 20名	・7/23つなぐ利府放課後デサービス（小中学生） ・9/12利府支援学校（4年生） ・10/17青葉台保育園（年長児） ・3/17アスク保育園（年長児）
◆企画事業 夏休みは楽しいことをやってみよう	34回 313名	・7/22、/24「ミニおはなし会」 ・7/24「七夕飾りを作ろう」 ・7/24、/25「サンキャッチャーを作ろう」 ・7/25、「毛糸で巻き巻き飾りを作ろう」 ・7/28～/31「オリジナル貝殻アート」 ・8/1～/3「輪ゴムプレスレットをつくろう」 ・8/4～/6「クイズ！スタッフを当てろ」 ・8/4～/6「ギャラクシーボトルをつくろう」 ・8/7「サンキャッチャーをつくろう」 ・8/7～/9「切り絵とメッセージカード」 ・8/14～/16「色えんぴつでプラバンを作ろう」 ・8/20「楽器を楽しもう」 ・8/18～/22「ステンドグラス風からふるしおり作り」 ・8/25「アイズの棒を使って合わせ箸をつくろう」
◆企画事業 オマチマンコンサート	10月18日	32名 保育園や幼稚園の子どもたちを中心に、日本全国で公演をしている『愛と元気のおまチマン』のコンサートを行いました。
交流事業 児童センターまつり「できるかな？SDG s チャレンジ」	12月13日	111名 昨年に引き続きSDG s をテーマに、一般企業や業界団体、更生保護女性会や社会福祉協議会、敬老会や生涯学習課など多くの外部団体にご協力いただきおこないました。
交流事業 しあわせのおすわけ	1月14日	171名 更生保護女性会、生涯学習課の方々にご協力いただき、由来などを説明しながら鏡餅と島田飴の鏡開きをおこない、おしるごをふるまいました
◆企画事業 コンサート チリンとドロン	2月3日	99名 『乳幼児親で楽しむはじめてコンサート』と題し、やさしくて楽しいひと時を提供しました。
◆交流事業 桃の節句の集い	3月3日	34名 町加瀬町内会長寿会の皆さまをお招きし、お琴の演奏会を行うなど交流を持ちながらひな祭りを楽しみました。
◆企画事業 人形劇「ひばぼたあむ」	3月17日	88名 全国で活躍する人形劇団体をお招きし、本物に触れる機会を提供しました。また、聖農保育園にも声をかけ、交流の場としました。
◆交流事業 利府町内福祉施設ネットワーク研修	10月22日 10月29日 12月8日	63名 利府町内の児童館、児童クラブ職員を対象に、救急救命と不審者対応講習をおこないました。
◆職員研修	50回程度	のべ151名 児童館・児童クラブに必要な資格の取得や子育て、子ども達の気持ちに寄り添える研修に参加しました。
◆企画事業 人形劇『とんがらし』	4月24日	85名 人形劇「とんがらし」を観劇。 子どもたちが本物の人形劇を体験する良い機会となりました。
◆企画事業 野菜と花を植えよう	5月26日	30名 児童クラブだけでなく、べあくる全体の園芸を行い、ラディッシュ、きゅうり、トマト、じゃがいもを植えました。
◆企画事業 七夕飾り制作	6月24日 27日	45名 七夕に向けて、笹の葉に飾る短冊や折り紙の七夕飾り、くす玉などを制作し、季節の行事に親しみました。
◆企画事業 映画鑑賞会	7月23日 7月24日 8月18日	155名 映画館で観る気分が味わえるように、ポップコーンを食べながら映画鑑賞会を行いました。

◆企画事業 水遊び・ウォーターバトル	7月23日 7月31日	100名 ペットボトル水鉄砲を自分たちで制作し、空気圧を調整するなど工夫をしながら水遊びを行いました。水風船や水鉄砲を使い水遊びを楽しみました。
◆企画事業 ミサンガ作り	7月28日 31日	40名 段ボールの型と刺繍糸を使用し、ミサンガを作成しました。家族の分を作ったり、上級生が下級生に優しく教える姿がみられました。
◆企画事業 お化け屋敷	7月31日	84名 2年生が主催し、演者や裏方として参加しました。こどもたちはお化け屋敷に入ったりして夏の風物詩を楽しみました。
◆企画事業 缶バッジ作り	8月4日 8月6日 8月7日	72名 紙にそれぞれ好きな絵を描き、缶バッジメーカーで、オリジナルの缶バッジを制作しました。
◆企画事業 プラバン作り	8月6日	50名 キャラクターの写し絵やオリジナルのイラストをプラバンに描き、焼いた後キーホルダーにしました。
◆企画事業 かき氷を食べよう	8月8日	63名 猛暑を乗り切れるようみんなでかき氷を食べました。
◆企画事業 しゃぼん玉作り	8月8日	10名 モールで吹き具を作り、手作りのシャボン液をつけて色々な形のシャボン玉を楽しみました。
◆企画事業 出張こども万博	8月18日	68名 こどもたちが自館でおこなったこども万博をべあくでも展示しました。実行委員6名が展示から進行まで行い、ジオラマやUFOキャッチャーなどを展示しました。
◆交流事業 郷土資料館見学	8月18日 8月19日	42名 利府町生涯学習課の方に案内してもらい、郷土資料館の見学を行いました。
◆企画事業 チャレンジランキング	8月20日 8月22日	30名 水中コイン落とし、キャップつみ、宝石探しなども種目を行い、ランキングを提示しました。
◆企画事業 夏祭り	8月22日	46名 こどもたちが主体となって、千本引きなどのコーナーの準備や運営を行い、夏祭りを楽しみました。
◆交流事業 カレーを食べよう	8月26日	151名 更生保護女性会の方に来ていただき、職員と一緒にカレー作りを手伝っていただきました。できたカレーは、こどもたちとみんなで食べました。
◆交流事業 世代間交流会	9月18日	82名 敬老の日にちなみ近隣町内会の方をお招きし、こどもたちと一緒に茶話会やゲームを行い、交流をはかりました。
◆企画事業 手作り楽器	9月25日	35名 ペットボトルキャップなどの廃材を使って笛やマラカス作りを行いました。
◆企画事業 お楽しみレース	9月26日	37名 様々な運動要素を取り入れ、段ボールキャタピラーなどを使った障害物レースを行いました。パン食いレースは子どもたちも楽しみながら運動することができました。
◆交流事業 人権擁護委員 花植え&紙芝居	10月21日	65名 人権擁護委員の方が来館し、花を植えることで「命の大切」や、「協力すること」、「思いやり心」の大切さを学びました。
◆企画事業 英語で楽しむハロウィン	10月31日	11名 ゲームを通じて英語の単語を覚えながら、ハロウィンの世界観を楽しみました。
◆交流事業 海を感じるふれあい体験	11月4日	45名 地域おこし協力隊の皆さんに、海の生き物のタッチプールや貝殻アートといった楽しめる体験プログラムをおこなってもらいました。

◆企画事業 豚汁を食べよう	11月4日	34名 職員が作った豚汁をみんなで食べました。何杯もお代わりする子がいるなど、大好評でした。
◆交流事業 防災教室	11月12日 11月14日	116名 利府消防署の方が来館し、防災カルタを行いながら防災について学びました。
◆企画事業 クリスマス会お楽しみ会	12月24日 12月25日	108名 児童クラブごとにゲーム大会やクカードづくりなどおこないました。
◆企画事業 大掃除	12月26日	96名 年最後の児童クラブ利用日に合わせ、いつも使っている児童クラブ室をみんなできれいにしました。
◆交流事業 もうすこしでお正月	12月26日	65名 更生保護女性会、生涯学習課、子ども支援課の方々にご協力いただき、お餅の歴史を学び、臼と杵をつかって餅つきを行いました。
◆企画事業 初詣	1月5日	29名 新年最初の児童クラブ当初日に合わせ、近くの八幡神社までお参りに行きました
◆企画事業 節分をたのしもう	2月3日	36名 節分をおこなう理由を学び、年代に合わせて、豆に見立てた新聞ボールを投げる豆まきなどをおこなった。
◆交流事業 まち探検 こども110番	3月25日	18名 利府町内の施設を練り歩き、その道中で「こども 1 1 0 番の家」を探し、利府消防署・利府町役場の見学・体験をした。

有 色 セ ル の 事 業 数 の み 入 力	自己評価集計	事業数	基礎点	実績点
	指定事業	4	8	9
	提案事業	12	24	26
	自主事業	56		56
	合計	72	32	91
	町評価集計	事業数	基礎点	実績点
	指定事業	4	8	12
	提案事業	12	24	28
	自主事業	56		56
	合計	72	32	96

2. 事業の実施状況総合評価

自己評価（５段階）	自己評価理由	評価（％）
S	○児童健全育成事業/地域交流推進事業 町の中心となる児童福祉施設として、「こどもをまんなか」において取り組んできた一年でした。家庭や学校に居場所を感じられない子どももいます。そのような子どもたちが身近にいる大人と遊ぶとんだかあたいたかい気持ちになる。そんな人物像を目指し、チームで日々精進してきました。何よりも同じ仲間と語り合うことが重要なキーポイントに子どもたちの居場所づくりのためにどうしていけばよいのか、特に中高生世代の取り込みには、子どもたちとコミュニケーションをとり寄り添いながらとりくんでまいります。また、地域との連携や協力体制の構築を心がけ、「おかもち隊」として町内会のイベントへのお手伝い。地域に根差した児童福祉施設を心がけてきました。 ○子育て支援事業 通常時の広場では、町外6割町内4割となり、昨年度よりは、町内の利用者が増えました。提案行事においてもピーターが定着し、安定した行事展開となった。利用者の中には職員が広場で一緒に遊ぶことにより、子育てで悩んでいる相談件数も昨年度より増えてきている。おうちの人の悩みをなかなか話せないこと声もあり、「ママカフェ」を開催した。児童文化財にも力を入れ人形劇など「本物」にふれる機会を作ることができ、とても喜んでもらえました。さらに利用者や地域の方々とのコミュニケーションを行い「地域の架け橋」になるよう取り組んでいきたいと考えております。 ○放課後児童クラブ事業 法人で大切にしている「子どもの参画」をベースに事業を継続しておこないました。1～2年生は、「体験」が中心となる行事展開を多く実施。3～6年生は、自分たちの「やりたい！」を形にする行事の展開、夏休みや冬休みといった長期休業を中心に大人との交渉から実現までを増やし、保護者からのありがたいお声もいただきました。子どもたちの意見を取り入れ、自主性を重んじたものができた手ごたえがあり、このような評価としました。今後も、職員研修などを通してスキルアップに努めていきます。 ○体力増進事業 児童館の機能に加えて、体力増進のための専門職員が幅広い年齢層に子どもに遊びだけでなく運動指導を行い体力向上やスポーツ松堂も重視しています。また、中学生や高校生向けの活動や居場所づくりも実施しました。	284%

町評価（５段階）	町評価理由	評価（％）
S	指定管理者2年目となり、来館者も開館当初時より落ち着き、安定した児童センターの運営に繋がったと思う。町内利用者の割合が増えるための取り組みは、日々、模索しながらも人数へ反映できたのではないかと感じている。 児童クラブ運営については、入所する児童数が多く1～3年生の預かりではあったが、その中でも配慮が必要な児童も多く運営に苦慮していたと感じていたが、スタッフを中心に安全・安心な運営に努められていた。昨年のモニタリングで「地域と積極的に交流を図ってほしい」と指摘したが、町内会や老人クラブ、消防署や交番等、様々な団体等と積極的に交流が図られたことは良かった。 子育て広場は、安定した事業展開や相談体制の充実もあり、乳幼児親子がより利用しやすい広場となり、利用者増やピーターに繋がったと思う。また、新しい事業へもチャレンジしたことにより、今まで子育て広場へ来たことがなかった乳幼児親子が利用するきっかけとなった。引き続き、利用しやすい・相談しやすい子育て広場の運営をしてほしい。 体力増進事業では、軽運動場や多目的室を利用しながら、特に中高生の居場所になるよう工夫をしながら事業展開が図られていた。少しづつ、「中高生の居場所」として定着してきていることが、利用者増へ繋がったと思う1年だった。今後も、学校と密に連携しながら、中高生の声を大事にし「第3の居場所」として提供してほしい。	300%

利府町中央児童センター モニタリング評価【収支状況シート】

利府町

評価年度	令和 7 年度
------	---------

●経営状況

(1)施設の収支概要

単位：千円

項目	前年度予算	今年度決算	予算決算比
収入（a）	78,399	78,399	0
指定管理料	78,399	78,399	0
利用料金収入			0
（うち、減免補填額）			0
事業収入			0
その他の収入			0
支出（b）	78,399	78,399	0
人件費	58,500	62,675	-4,175
事務事業費	14,521	10,112	4,409
維持管理費	3,670	4,524	-854
その他の支出	1,708	1,088	620
収支（a）-（b）	0	0	0
備 考			